

## アメリカ議会図書館蔵「清國二十萬分一圖」の解説と目録

解説 小林 茂（大阪観光大学、大阪大学名誉教授）・渡辺理絵（山形大学）  
山近久美子（防衛大学校）・鳴海邦匡（甲南大学）  
目録 藤山友治（大阪大学文学研究科博士前期課程）・小林 基（同）

日清戦争を契機に陸地測量部が刊行した「清國二十萬分一圖」については、これまでたびたび紹介し、その重要性を指摘してきた（小林ほか 2010、小林 2011: 49-91、小林ほか 2013）。この図群は、1880 年代に清国に派遣された陸軍将校がおもにコンパスと歩測によって測量した成果を、欧米製の海図などを枠組みにして編集して作製されたものである。満洲南部（盛京省）、北京周辺（直隸省）、山東半島（山東省）をカバーし、本格的な近代地図ではないが、同様にして整備された「朝鮮二十萬分一圖」とあわせて、日清戦争の主要戦場域を中心とした地域を描いている。

この図群が日清戦争や日露戦争でどのように使用されたか、わかっていることは少ないが、『征清戦袍余滴』という、日清戦争時に第三師団の一員として第一軍に従軍した将校の日記にみえる次のような記録がその例としてあげられる。1894 年 11 月 7 日の記載では、盛京省沿海の大孤山付近の農村での穀物の調達に関し、第 18 連隊第 2 大隊を率いていた福島安正中佐は、その護衛を担当する著者の山岡金藏中尉（第 6 連隊）に対して、20 万分の 1 図によって目的地とする「打項」という村名を示したという（井ヶ田・山岡 2006: 151）。この地名は、「清國二十萬分一圖」137 号「清國盛京省 遼東灣大孤山港」の大孤山港の北北東方 7 キロメートルに確認でき、本図群が日常的な軍務に使われていたことがうかがわれる。またこれよりさかのぼる 1894 年 10 月 25 日の記載では、鴨緑江の渡河作戦に関連して、著者山岡に大隊長から呼び出しがかかり、渡し船を用意して待機する地点が 20 万分の 1 図に示されたという（井ヶ田・山岡 2006: 141）。これも「清國二十萬分一圖」（おそらく 147 号「清國盛京省 寬甸縣安東縣鳳凰廳」）で

あることが確実であるが、ただしこの図が余りに小縮尺だったためか、山岡は「現地の様子は一向不案内なり」として水泳の上手な兵卒を偵察に出すことになった。この例では「清國二十萬分一圖」の限界がうかがわれるが、ともあれそれが戦闘準備に際しても参照されていたことが明らかである。「清國二十萬分一圖」はまた、日清戦争時までに日本陸軍が広域的に準備できた唯一の地図でもあり、その作成過程や構成を詳細に検討しておく必要性が理解されよう。

ただし「清國二十萬分一圖」は、その数が限られているにもかかわらず、アプローチが容易ではない。まず印刷時期が明示されることが少なく、「明治十七年創製」とのみ記されているものが多い。明治 17 年は 1884 年にあたり、上記のようにまだ将校たちが測量に従事していた時期でこれを刊行時期とするには無理がある。他の記録から「清國二十萬分一圖」の印刷は 1893（明治 26）年に印刷が開始されたと推測されるが、その過程についてはわかっていないことが多い。多くは 1894 年に刊行されたと考えられるが、日清戦争期に修正されたことが明記されているものも少なくない。

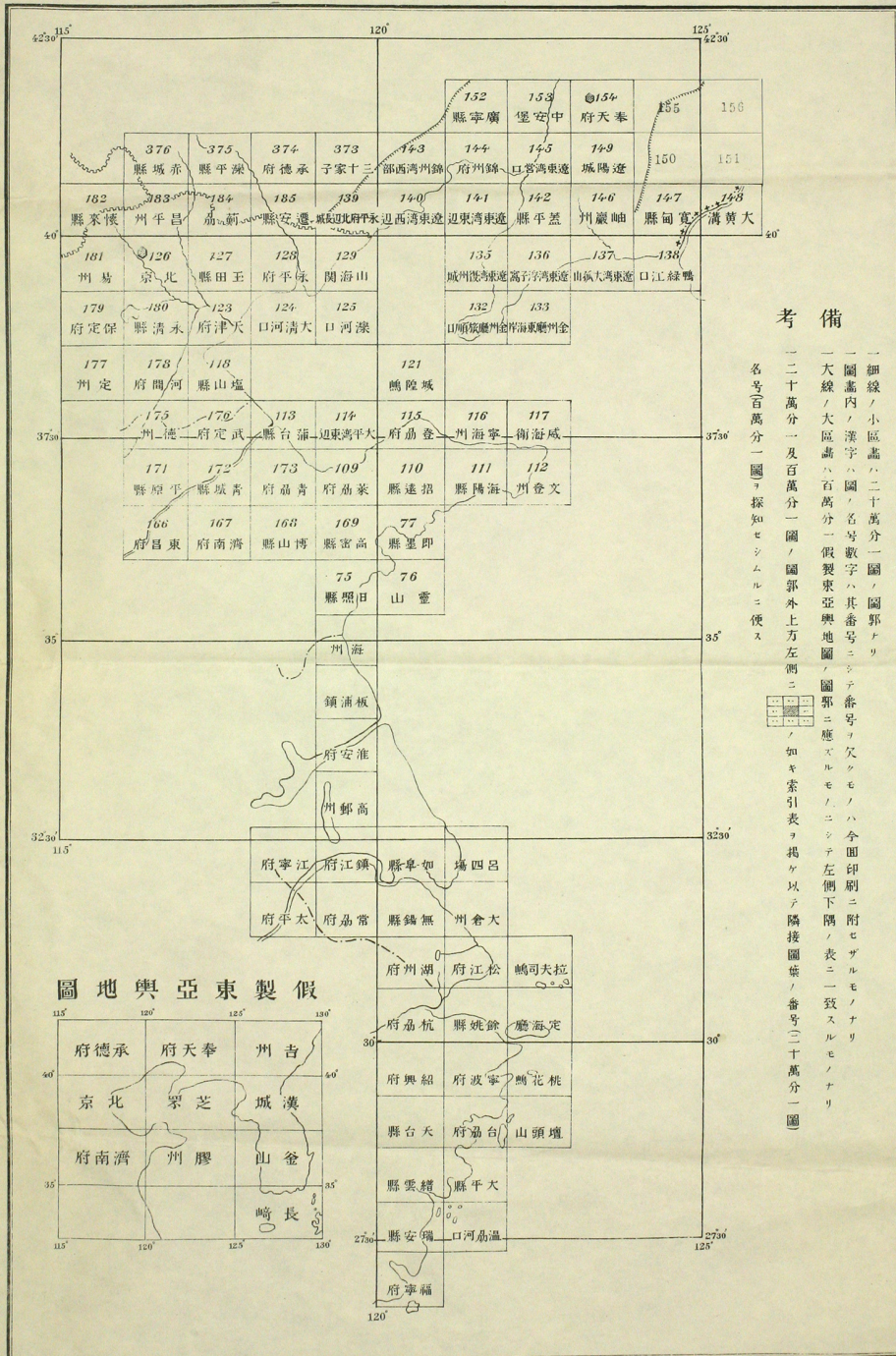
他方、これまで見つかった「清國二十萬分一圖一覽表」（1894 年 9 月印刷）では、掲載地図について「渤海近傍六十三版」としつつも、この「三」を「七」と朱字で直している（図 1）。初期は全 63 図幅であったのが、4 図幅ふえて 67 図幅になったということになるが、この増加は何時のことなのか、それ以後増加がなかったのか、という点についても十分に検討されていない。

これらの点で「清國二十萬分一圖」は、大まかな概要はわかっているものの細部については不明のことが多く、多数を収蔵するコレクションの目

# 清國二十萬分一圖一覽表

(版五十六傍近海渤)

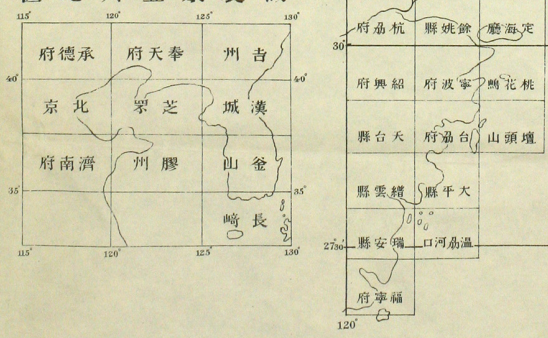
明治二十七年九月印刷



## 考 備

- 一 細線ノ小區畫ハ二十萬分一圖ノ國界ナリ
- 一 圖畫内ノ漢字ハ國ノ各号數字ハ其番号ニシテ番号ヲ欠ケモノハ全圖印刷ニ附セザルモノナリ
- 一 大線ノ大區畫ハ百萬分一假製東亞輿地圖ノ國界ニ應ズルモノニシテ左欄下欄ノ表ニ一致スルモノナリ
- 一 二十萬分一及百萬分一圖ノ國界外上方左側ニ
- 一 名号百萬分一圖ヲ探知セシムルニ便ス

## 圖地輿東製假



G 9820s  
s200  
J3

图 1 : 「清國二十萬分一圖一覽表」(アメリカ議会図書館蔵)

録作りから開始する必要があるといえよう。これによって一点ずつ確認しつつ、修正の時期やカバーする範囲を確定していくわけである。

さて、「清國二十萬分一圖」のコレクションとしては、すでに井田浩三氏による検討があり、公的機関としては国立国会図書館（全 11 点）、駒澤大学地理学科（全 12 点）のほか岐阜県図書館の複製図（全 45 点）がある。また個人の収集では、地図研究家の故岩田豊樹氏（全 64 点）、山下和正氏（全 59 点）、さらに井田浩三氏（全 59 点）がある（井田 2012）。このうち岐阜県図書館のものについて簡略な目録と一覧図があるだけで、まだ本格的な目録が作られた例がないようである。ここでアメリカ議会図書館の収蔵図を取り上げるのは、その点数が多いことにくわえ（重複も多いが全 120 点）、2008 年以後の陸軍将校らの測量原図の調査過程で、これらの写真をしばしば参照してきたことが主な理由である。また同じ場所を図示するが、時期の違う図幅がみとめられ、その改訂の様子が確認できること、さらにいずれの図も折りたたみの跡があり、なかにはそれを使用したと考えられる部隊印が裏に見られるものもあり、地図の使用状況にアプローチできる可能性があることも重要である。

なおこの間、大阪大学文学研究科人文地理学教室では古書として「清國二十萬分一圖」を購入しており（全 47 点、うち 4 点は重複）、以下に示すアメリカ議会図書館の目録に付して所蔵図を示しておくこととした。

## 1. アメリカ議会図書館蔵「清國二十萬分一圖」の目録作製について

上記のような観点からアメリカ議会図書館蔵「清國二十萬分一圖」を検討するため、重複するものも含め全点の目録を作製することとした。この基本資料は、アメリカ議会図書館地理地図部で渡辺と山近が 2009 年 3 月に、鳴海が 2012 年 5 月に撮影した画像のほか、2014 年 3 月に鳴海と小林が地理地図部に新たに備えられたスキャナーでスキャンした画像、さらに並行して小林が作成

したカードである。すでに写真によって概要を把握していたが、あえてカードを作製したのは、多方面からの分析の可能性を検討するためでもあった。以下表 1 に示した目録の各項目について、その特色を解説しておきたい。

まず図の配列は、各図の右肩に記入されている番号（「図番号」）に従うこととした。図 1 に明らかのように、この番号は明快な空間的な原則によって決められているというよりは、多分に各図ができた順序も関与しているのではないかと思われるような分布を示している。そのため、別の番号を付すことも考えたが、数が限られているので、深刻な混乱は発生しないと考え、この番号を使うことにした。

多くの図番号で複数の図がみとめられるが、同じ版と判断されるものについては、個体番号を付けて区別している。他方、その製版時期が違ふと考えられる図の場合は A と B として区別している。後者のようなケースは少ないが、それでも全部で 8 組認められる。

次のタイトルは二つに分かれているが、一方は清国の省を示し、他方は図示する地域となる。「タイトル (小)」としたものを、各図のタイトルと考えていただきたい。

さらに創製・製版年代は、各図の左肩または右下に記されているものをそのまま示している。このうち明治 17 年創製とされているものが多いが、それが製版や印刷の時期と考えられないことはすでに示したとおりである。「創製」にくわえて「製版」や「脩正」、「再版」の記載は、図の新旧に関係するので記載をすべて示している。

つづく「LC 受入」では、本図群すべてに見られるアメリカ議会図書館（Library of Congress）に受け入れ手続きを行ったときの印が示す時期を記入している。裏書きなどから地図をグループに分けた場合、同一グループは同時期に受け入れられることになることが予想され、この項目を設定した。

「サイズ」は、各図を重ねてみるとかなりの大小が認められ、それを確認するために示した。た



だし、本図群の図にはすべて折り目があり、それによるしわが見られることが多い。このためサイズの計測は容易でなく、数値は目安として考えていただきたい。

経緯度は、各図東西は1度、南北は40分で、四隅に記載されているものを示しているが、147号(A)の緯度の場合のように、同一図の中で記載が一貫せず、あきらかな誤記も見られることを指摘しておきたい。この場合表1では、もちろん正しいものを記載している。

本図群では、等高線状の地形表現が一般的であるが、陸軍将校たちの測量からして、これらが普通の地形図に見られるような等高線と同一視できないことは、あらためていうまでもない。土地の起伏を示す際の便法として、等高線類似の表現が採用されているに過ぎない。これに対して一部にはケバによる地形表現もあり、図の作成時期を考

えるに際し重要なので、「地形表示」として記載した。

つづく「表面文言」は、本図群では7点にみられるだけのもので、図の左側に印刷された文言の有無をさしている。この文言は作図に際して参照した英国製の海図や測量に当たった日本陸軍将校の旅行コースや旅行時期を示している。これには長いものもあるが、短い132号(A)のものを例として示すと次のようになる(図2も参照)。

海面及海岸ノ位置ハ英國海軍水路局出版千二百五十六号千八百八十年改正ノ直隸并ニ遼東湾図ニ據リ 大聯湾近傍ハ同上出版二千八百二十七号千八百七十七年改正ノ大聯湾圖ニ據リ 金州ヨリ石河駟ニ至ル道路ハ明治十三年伊集院兼雄旅行圖ヲ採リ 金州ヨリ大聯湾沿海小浜頭ニ至ル道路ハ明治十三年山根武亮旅行圖ヲ採リ 金

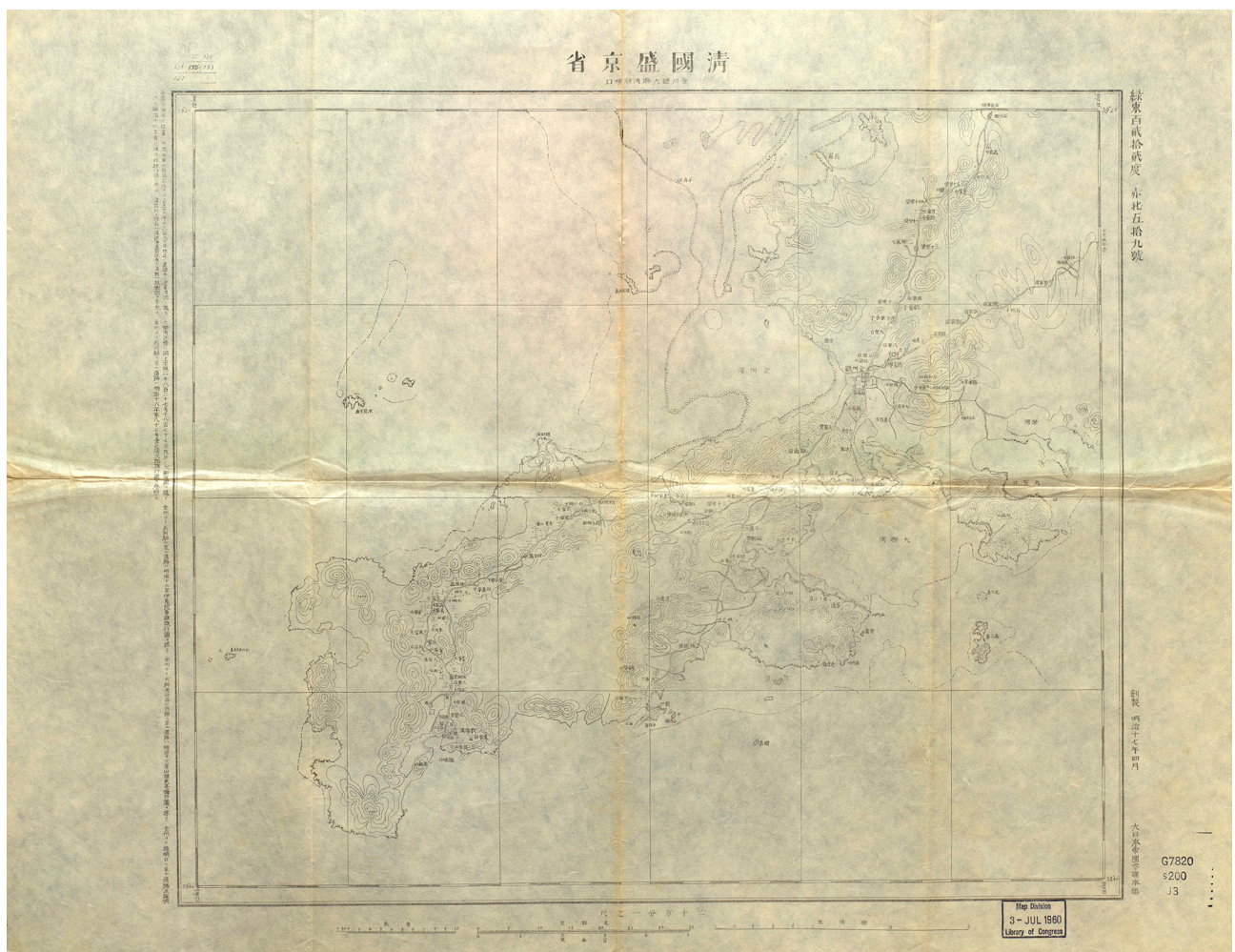


図2：清國二十萬分一図132号(A)「清國盛京省 金州廳大聯湾旅順口」図幅

州ヨリ旅順口ニ至ル道路及旅順口内ハ明治十六年倉辻靖次郎旅行図に採ル 道路外ノ地名ハ清訳海道図説及ヒ清朝一統輿図ヲ参照ス 金州ヨリ石河駟ニ至ル道路ハ明治十六年第八十七号倉辻靖次郎旅行圖ヲ参照ス

ここではまずイギリス製海図の「直隸并ニ遼東湾圖」（1256号、1880年改正）および「大聯灣圖」（2827号、1877年改正）によって海岸線を描いていることがわかる。また金州を起点に各地にむかう道路の記載の根拠となった陸軍将校（伊集院兼雄・山根武亮・倉辻靖次郎）の旅行年と測量図を記している。さらに「道路外」の地名については、まず「清訳海道図説」よつたとするが、これは『中国測繪史』第2巻（『中国測繪史』編輯委員会編 1995: 189-190）にみえるイギリス水路誌の漢訳である『海道図説』（おそらく King[1864]の漢訳）となる。つづく「清朝一統輿図」は類似の名称の図が各種あり特定が困難であるが、東側に隣接する 133号(A)図幅に見られる文言から推測すると、上記『海道図説』に付属した漢訳海図（「大清一統海道総図」と題する全体図と全 12枚の「中国海道図」という部分図よりなる）の可能性も考えられる。

なおこうした文言が見られる図は他にも少なくとも二点が示されており（井田 2012）、これらの本格的検討から日本陸軍による初期の中国地理情報の収集状況が把握できる可能性は大きい。

目録のもう一つの項目である「裏面記載」は、図の裏面にみえる印や書き込みを通じて、「清國二十萬分一圖」の使用状況を検討するためにもうけたものである。印はいずれも朱印で「臨時第七師團糧餉部之印」（全 4点、直隸省と盛京省の図幅）、「騎兵中隊」（全 7点、いずれも直隸省の図幅）、「屯田兵衛生隊印」（全 4点、いずれも盛京省の図幅）がみられる。

他方書き込みは a~h までの 8 類型に分類した（表 2 参照）。a の書き込みが見られるのは全 15 点で、1 点（直隸省の図幅）を除きすべて山東省の図幅である。b は 2 点で、ともに山東省の図幅となる。c は全 12 点で、1 点（直隸省の図幅）をの

ぞき、やはり山東省の図幅となる。d は全 27 点で、うち 16 点が盛京省の図幅、11 点が直隸省の図幅となる。e は 1 点のみで盛京省の図幅である。f、g も一点で山東省の図幅となる。さらに h は全 5 点であるが、いずれも盛京省の図幅で表に文言が見られるのが注目される。

また、裏面に印や書き込みが見られないものも多く（全 41 点）、これも合わせれば全 12 類型（朱印 3 種、書き込み 8 種、朱印も書き込みもないもの）に分類されることになる。

なお末尾の列では、阪大の所蔵図を示した。

## 2. アメリカ議会図書館蔵「清國二十萬分一圖」の来歴

目録の項目の説明からうかがわれるように、アメリカ議会図書館の「清國二十萬分一圖」は、日本軍のいろいろな部隊が保有していた図を集めたものであることが明らかである。この場合、どのような部隊が保有していたのかが注目され、「臨時第七師團糧餉部之印」とする朱印がまず手がかりとなる。臨時第七師團は日清戦争がかなり進行した 1905 年 3 月に編成されたもので、その終結にともなって同 6 月には復員解散された（秦編 2005: 372-373）。この師團に関する記録からさらに屯田兵團を改組して編成されたこと、支部には糧餉部があったことがわかる（アジア歴史資料センター資料、Ref. C06021928100 および C13110316200）。図の中に「屯田兵衛生隊印」がみられるのは、こうした臨時第七師團の編成を反映したものとみてよいであろう。またこの師團には騎兵中隊も付属しており、「騎兵中隊」の印のみられる図は、それに配分されていたことをうかがわせる。

臨時第七師團は第一軍に所属し、その糧餉部、屯田兵衛生隊、さらには騎兵中隊が保有した「清國二十萬分一圖」が盛京省と直隸省になっていたのは、同師團の活動予定地域を反映したものとえよう。d 類型や h 類型の地図を保有していた部隊がやはり日清戦争に従軍していたとすれば、これから第一軍に属したと考えるのが自然であろう。それに対して、a 類型、b 類型、c 類型など山東省

の図を保有していた部隊は第二軍に属していたと推定される。

つぎにこのような地図がどのような経過でアメリカ議会図書館に収蔵されるようになったかが問題となる。日清戦争の終結にともなって各部隊から返納された地図がおそらく陸地測量部に集積され、陸軍将校らの上記手描き原図などと同様に、第2次世界大戦後にアメリカ陸軍（とくに Army Map Service）に接收され、その後にアメリカ議会図書館に受け入れられたものと考えておきたい（山近ほか 2011: 119-120 参照）。

なお、表1の「裏面記載」により設定した類型ごとにアメリカ議会図書館への受け入れ時期を見ると、「臨時第七師團糧餉部之印」の印をもつものうち3点は1960年7月の受け入れであるが、1点は1961年1月となっており、「騎兵中隊」の印をもつものでも6点は1961年1月の受け入れであるが、1点は1960年7月の日付である。同様のことはa類型やc類型の書き込みをもつ地図でもみられる。これはすでにアメリカ議会図書館への受け入れ以前に各部隊の保有していた地図の分散が始まっていたことを示すものであろう。

### 3. 「清國二十萬分一圖」の印刷時期

さらに「清國二十萬分一圖」の印刷時期についても見ておきたい。すでに述べたように、本図群の地図は「明治十七年創製」とするものが多く、少数ながら「創製明治十七年四月」とするものもみられる。ただしそれ以外に製版時期を示すものもしばしば見られる。その多くは明治27(1894)年であるが、なかには126号(A)、185号(A)のように、「創製明治十七年四月」としつつも、明治26(1893)年5月の製版を明記する例も見られる。またこの2例では地形表示がケバでおこなわれ、さらには表面に測量データの由来を示す文言を持つという点でも共通している。表1の目録でこうした文言を持つものは全7点であるが、このうち4点がケバによって地形が表現されている点も、こうした結びつきの想定を補強する。

この点は、国立国会図書館が収蔵する「清國二

十萬分一圖」のうち YG819-570~576 の計7点をみても明らかである(表3)。「地形表示」では、ケバに加えて等高線も合わせて使うものが少なくないが、いずれも文言をともなっている。

これらの点から、表に測量データを示す文言をもち、「地形表示」にケバを用いるものは、印刷時期が早いと判断されることになる。他方、こうした図と同一の図番号を持つ126号(B)や185号(B)では、製版時期が明治27(1894)年となるだけでなく、文言がなくなり、等高線による地形表示があらわれてくることになる。そして表1に見える多くの図のように、時期については「明治十七年創製」とだけ示し、地形は等高線で表示する図になっていったと推定される。

臨時第七師團に関連する部隊が保有していた図を検討すると、文言をもつものは見られず、ほとんどが等高線による地形表示である。これはその編成の遅さを考えれば当然といえよう。逆にhタイプの裏書きをもつ図では全5点が文言をもち、2点がケバ表示であることを考えれば、それを保有していた部隊の日清戦争への動員は早かったと推測される。

このような点からすると、すべての図番号について、初期には文言とケバによる表示をともなった図が作製されたのではないかと、いう想定も成り立つが、この点については、現存する「清國二十萬分一圖」をさらに収集する必要があるといえよう。

以上、アメリカ議会図書館蔵「清國二十萬分一圖」の目録準備過程でわかってきた点について簡単に示した。「清國二十萬分一圖」のなかでも、さかのぼる時期に作られたものは、測量データの由来を示す文言を持つので、それを手がかりにどのようにしてこの図群が編集整備されていったのか、という点についてアプローチが可能である。今後は、「清國二十萬分一圖」をさらに広く探索し、その印刷時期や保有部隊を検討しつつも、文言を精読し、またそのための測量の生データともいえる初期外邦測量原図(昨年度から大阪大学文学研究科

人文地理学教室の外邦図研究プロジェクトのHPより「アメリカ議会図書館蔵 初期外邦測量原図データベース」を仮公開を綿密に参照して、さらにこの編集過程を検討していく必要がある。本目録が、そうした研究のための基礎作業として参照されることを期待したい。

## 謝辞

本稿ができるまでアメリカ議会図書館地理地図部の方々には多方面からお世話いただいた。またブリティッシュ・コロンビア大学学生で、2011～2012年に大阪大学に交換留学で来訪していた顧立舒君には、本目録作成にむけた基礎作業についてお世話になった。記して感謝したい。

なお、本目録の作成については、2007～2009年度科学研究費（基盤研究[A]）「アジア太平洋地域の環境モニタリングにむけた地図・空中写真・気象観測資料の集成」（代表者：小林茂）ならびに2012～2014年度科学研究費（基盤研究[A]）「未利用の海外所在東アジア近代地理資料の集成と活用」（代表者：小林茂）を使用した。

## 文献

井ヶ田良治・山岡高志 2006. 『征清戦袍余滴』(二) 山岡金藏中尉の日清戦争従軍日誌 社会科学（同志社大学人文科学研究所）76: 139-164.  
井田浩三 2012. 「簡易測量による外邦図（清国）の

新たな図の紹介」外邦図研究ニューズレター9: 13-39.

小林 茂 2011. 『外邦図—帝国日本のアジア地図』中央公論新社（中公新書 2119）.

小林 茂・渡辺理絵・山近久美子 2010. 「初期外邦測量の展開と日清戦争」史林（史学研究会）93（4）: 473-505.

小林 茂・山近久美子・渡辺理絵・波江彰彦・山本健太・鳴海邦匡 2013. 「アメリカ議会図書館蔵 初期外邦測量原図データベース 解説」外邦図研究ニューズレター10: 5-17.

《中国測繪史》編輯委員会編 1995. 『中国測繪史』第2巻、測繪出版社.

秦 郁彦編 2005. 『日本陸海軍総合事典（第2版）』東京大学出版会.

山近久美子・渡辺理絵・小林 茂 2011. 「広開土王碑文を将来した酒匂景信の中国大陸における活動：アメリカ議会図書館蔵の手描き外邦図を手がかりに」朝鮮学報 221: 117-159.

King, J.W. 1864. *The China Pilot: Comprising the Coast of China, Korea, and Manchuria; the Sea of Japan, Gulfs of Tartary and Amúr and Sea of Okhotsk; also the Babuyan, Bashi, Formosa, Meiacosima, Lu-Chu, Mariana, Bonin, Japan, Saghalin, and Kuril Islands* (Fourth Edition). Great Britain, Hydrographic Department.

表 1 : アメリカ議会議図書館蔵「清國二十萬分一圖」目録 (LCN: 2009579537; LC classification: G7800 s200 .J3)

No.	図番号	個体番号	タイトル(大)	タイトル(小)	創製・製版年代	L0受入	サイズ		北緯				東経				地形表示	表面文言	裏面記載	所蔵
							女子	ヨコ	度	分	度	分	度	分	度	分				
1	75		清國山東省	日照縣王家台灣郷 ■(王十耶)台湾	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1965/06	未測	未測	35	20	36	0	119	0	120	0	0	等高線	なし	
2	76		清國山東省	靈山衛	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	未測	未測	35	20	36	0	120	0	121	0	0	等高線	なし	
3	77		清國山東省	膠州即墨縣	明治17年創製、同27年10月修正	1961/01	未測	未測	36	0	36	40	120	0	121	0	0	等高線	なし	
4	109	1	清國山東省	萊州府平度州昌邑縣 縣瀋縣瓦城	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1965/06	46.2	58.2	36	40	37	20	119	0	120	0	0	等高線	なし	
5	109	2	清國山東省	萊州府平度州昌邑縣 縣瀋縣瓦城	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	46.2	58.2	36	40	37	20	119	0	120	0	0	等高線	a	
6	110	1	清國山東省	招遠縣	明治17年創製、同27年10月修正	1965/06	46.2	58.3	36	40	37	20	120	0	121	0	0	等高線	なし	
7	110	2	清國山東省	招遠縣	明治17年創製、同27年10月修正	1961/01	47.2	58.3	36	40	37	20	120	0	121	0	0	等高線	a	
8	111	1	清國山東省	海陽縣棲霞縣	明治17年創製、同27年10月修正	1965/06	44.0	50.5	36	40	37	20	121	0	122	0	0	等高線	b	
9	111	2	清國山東省	海陽縣棲霞縣	明治17年創製、同27年10月修正	1961/01	46.1	59.2	36	40	37	20	121	0	122	0	0	等高線	a	
10	112	1	清國山東省	文登縣	明治17年創製、同28年2月修正 明治27年製版、同28年2月再版	1965/06	46.1	58.2	36	40	37	20	122	0	123	0	0	等高線	b	
11	112	2	清國山東省	文登縣	明治17年創製、同28年2月修正 明治27年製版、同28年2月再版	1961/01	46.1	58.2	36	40	37	20	122	0	123	0	0	等高線	a	
12	113	1	清國山東省	蒲台縣馬高利津縣	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1965/06	46.1	58.1	37	20	38	0	118	0	119	0	0	なし	なし	
13	113	2	清國山東省	蒲台縣馬高利津縣	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	46.2	58.2	37	20	38	0	118	0	119	0	0	なし	なし	
14	113	3	清國山東省	蒲台縣馬高利津縣	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1960/07	43.8	49.2	37	20	38	0	118	0	119	0	0	なし	c	
15	114	1	清國山東省	太平洋東邊	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	46.2	58.2	37	20	38	0	119	0	120	0	0	等高線	a	
16	114	2	清國山東省	太平洋東邊	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1960/07	43.9	49.5	37	20	38	0	119	0	120	0	0	等高線	c	
17	115	1	清國山東省	登州府黃縣	明治17年創製、同27年10月修正	1961/01	46.2	58.2	37	20	38	0	120	0	121	0	0	等高線	なし	
18	115	2	清國山東省	登州府黃縣	明治17年創製、同27年10月修正	1960/07	44.0	49.9	37	20	38	0	120	0	121	0	0	等高線	c	
19	116	1	清國山東省	寧海州福山縣芝罘 港	明治17年創製、同28年2月修正 明治27年製版、同28年2月再版	1961/01	46.0	58.1	37	20	38	0	121	0	122	0	0	等高線	a	
20	116	2	清國山東省	寧海州福山縣芝罘 港	明治17年創製、同28年2月修正 明治27年製版、同28年2月再版	1960/07	44.2	49.6	37	20	38	0	121	0	122	0	0	等高線	c	
21	117	1	清國山東省	威海衛	明治17年創製、同28年2月修正 明治27年製版、同28年2月再版	1961/01	46.0	58.2	37	20	38	0	122	0	123	0	0	等高線	a	



No.	図番号	個体番号	タイトル(大)	タイトル(小)	創製・製版年代	L0受入	サイズ		北緯		東経		地形表示	表面文言	裏面記載	所蔵	
							タテ	ヨコ	度	分	度	分					度
22	117	2	清國山東省	威海衛	明治17年創製、同28年2月修正 明治27年製版、同28年2月再版	1960/07	44.0	49.0	37	20	38	0	123	0	等高線	c	
23	118	1	清國直隸省	鹽山縣岐口	明治17年創製	1960/07	46.1	58.05	38	0	38	40	117	0	等高線	臨時第七師團糧餉部之印	
24	118	2	清國直隸省	鹽山縣岐口	明治17年創製	1961/01	46.2	58.2	38	0	38	40	117	0	等高線	d	阪大
25	121		清國山東省	煙城巖大欽島砲礮	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年1月修正	1961/01	46.2	58.2	38	0	38	40	120	0	等高線	a	
26	123	1	清國直隸省	天津府大沽北塘	明治17年創製	1961/01	46.0	58.2	38	40	39	20	117	0	ケバ	騎兵中隊	
27	123	2	清國直隸省	天津府大沽北塘	明治17年創製	1960/07	46.1	58.2	38	40	39	20	117	0	ケバ	なし	阪大
28	124	1	清國直隸省	大清河口	明治17年創製	1961/01	45.9	58.0	38	40	39	20	118	0	ケバ	d	
29	124	2	清國直隸省	大清河口	明治17年創製	1960/07	46.0	58.0	38	40	39	20	118	0	ケバ	なし	阪大
30	125	1	清國直隸省	灤河口	明治17年創製	1961/01	46.15	58.0	38	40	39	20	119	0	ケバ	なし	
31	125	2	清國直隸省	灤河口	明治17年創製	1960/07	46.3	58.2	38	40	39	20	119	0	ケバ	なし	阪大
32	126	A	清國直隸省	北京通州武清縣東安縣永清縣固安縣良鄉縣房山縣涿州	創製明治17年4月、明治26年5月製版	1960/07	46.2	59.2	39	20	40	0	116	0	ケバ	○	なし
33	126	B-1	清國直隸省	北京通州武清縣東安縣永清縣固安縣良鄉縣房山縣涿州	明治17年創製、同27年製版	1961/01	46.1	58.2	39	20	40	0	116	0	等高線+ケバ(一部)	なし	
34	126	B-2	清國直隸省	北京通州武清縣東安縣永清縣固安縣良鄉縣房山縣涿州	明治17年創製、同27年製版	1960/07	46.1	58.2	39	20	40	0	116	0	等高線+ケバ(一部)	なし	阪大
35	127	1	清國直隸省	玉田縣三河縣香河縣寶坻縣甯河縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.25	39	20	40	0	117	0	ケバ	臨時第七師團糧餉部之印	
36	127	2	清國直隸省	玉田縣三河縣香河縣寶坻縣甯河縣	明治17年創製	1960/07	46.2	58.2	39	20	40	0	117	0	ケバ	なし	阪大
37	128	1	清國直隸省	永平府灤州樂亭縣豐潤縣	明治17年創製、明治27年製版	1961/01	46.2	58.1	39	20	40	0	118	0	等高線	d	
38	128	2	清國直隸省	永平府灤州樂亭縣豐潤縣	明治17年創製、明治27年製版	1960/07	46.05	58.1	39	20	40	0	118	0	等高線	なし	阪大
39	129	1	清國直隸省	山海関撫甯縣昌黎縣	明治17年創製	1961/01	46.15	58.3	39	20	40	0	119	0	等高線	騎兵中隊	
40	129	2	清國直隸省	山海関撫甯縣昌黎縣	明治17年創製	1960/07	46.1	58.2	39	20	40	0	119	0	等高線	なし	阪大
41	132	A	清國盛京省	金州廳大聯灣旅順口	創製明治17年4月、明治26年5月製版	1960/07	46.1	58.8	38	40	39	20	121	0	等高線	○	h
42	132	B	清國盛京省	金州廳大聯灣旅順口	明治17年創製	1961/01	46.2	58.1	38	40	39	20	121	0	等高線	d	
43	133	A	清國盛京省	金州廳東海岸	創製明治17年4月、明治27年5月製版	1960/07	46.2	59.2	38	40	39	20	122	0	等高線	○	h
44	133	B	清國盛京省	金州廳東海岸	明治17年創製	1961/01	46.2	58.3	38	40	39	20	122	0	等高線	d	阪大
45	135		清國盛京省	遼東灣東邊復州	明治17年創製	1961/01	46.2	58.2	39	20	40	0	121	0	等高線	なし	阪大
46	136	A	清國盛京省	遼東灣■(三十字)窩港	創製明治17年	1960/07	46.5	59.0	39	20	40	0	122	0	等高線	○	h

No.	図番号	個体番号	タイトル(大)	タイトル(小)	創製・製版年代	L0受入	サイズ			北緯			東経			地形表示	表面文言	裏面記載	所蔵	
							タテ	ヨコ	度	分	度	分	度	分	度					分
47	136	B	清國盛京省	遼東灣■(ヲ十字) 遼東灣 遼東灣大孤山港	明治17年創製	1961/01	46.2	58.3	39	20	40	0	122	0	123	0	等高線	なし	阪大	
48	137		清國盛京省	遼東灣大孤山港	明治17年創製	1961/01	46.1	58.2	39	20	40	0	123	0	124	0	等高線	d	阪大	
49	138		清國盛京省	鴨綠江口	明治17年創製	1961/01	46.1	58.3	39	20	40	0	124	0	125	0	等高線	d	阪大	
50	139	1	清國直隸省	永平府北邊長城	明治17年創製	1960/07	46.0	58.2	40	0	40	119	0	120	0	等高線	なし	阪大		
51	139	2	清國直隸省	永平府北邊長城	明治17年創製	1961/01	46.0	58.1	40	0	40	119	0	120	0	等高線	d	阪大		
52	140		清國盛京省	遼東灣西邊寧遠州	明治17年創製	1961/01	46.0	58.2	40	0	40	120	0	121	0	等高線	d	阪大		
53	141		清國盛京省	遼東灣東邊	明治17年創製	1961/01	46.1	58.1	40	0	40	121	0	122	0	等高線	d	阪大		
54	142	A	清國盛京省	蓋平縣熊岳城遼河口	創製明治17年	1960/07	46.2	59.1	40	0	40	122	0	123	0	ヶバ	○			
55	142	B	清國盛京省	蓋平縣熊岳城遼河口	明治17年創製	1961/01	46.1	58.2	40	0	40	122	0	123	0	等高線	d		阪大	
56	143	1	清國盛京省	錦州灣西部	明治17年創製	1960/07	46.3	58.2	40	40	41	20	120	0	121	0	等高線	屯田兵衛生隊印		
57	143	2	清國盛京省	錦州灣西部	明治17年創製	1961/01	46.2	58.1	40	40	41	20	120	0	121	0	等高線	d	阪大	
58	144		清國盛京省	錦州府錦州灣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.2	40	40	41	20	121	0	122	0	等高線	d	阪大	
59	145		清國盛京省	遼東灣營口港	明治17年創製	1961/01	46.2	58.0	40	40	41	20	122	0	123	0	等高線	なし	阪大	
60	146	1	清國盛京省	岫巖州	明治17年創製	1960/07	46.3	58.1	40	0	40	123	0	124	0	等高線	屯田兵衛生隊印			
61	146	2	清國盛京省	岫巖州	明治17年創製	1961/01	46.15	58.25	40	0	40	123	0	124	0	等高線	d	阪大		
62	147	A	清國盛京省	寬甸縣安東縣鳳凰廳	創製明治17年	1960/07	46.4	59.0	40	0	40	124	0	125	0	ヶバ	○			
63	147	B	清國盛京省	寬甸縣安東縣鳳凰廳	明治17年創製	1961/01	46.1	58.3	40	0	40	124	0	125	0	等高線	なし		阪大	
64	148	1	清國盛京省	大黃溝	明治17年創製	1960/07	46.1	58.1	40	0	40	125	0	126	0	等高線	臨時第七師團糧餉部之印			
65	148	2	清國盛京省	大黃溝	明治17年創製	1961/01	46.3	58.3	40	0	40	125	0	126	0	等高線	なし			
66	149		清國盛京省	遼陽城	明治17年創製	1961/01	46.2	58.2	40	40	41	20	123	0	124	0	等高線	なし	阪大	
67	150	1	清國盛京省	城廠	明治17年創製	1960/07	46.1	58.2	40	40	41	20	124	0	125	0	等高線	屯田兵衛生隊印		
68	150	2	清國盛京省	城廠	明治17年創製	1961/01	46.1	58.25	40	40	41	20	124	0	125	0	等高線	なし		阪大
69	151	1	清國盛京省	懷仁縣	明治17年創製	1960/07	46.2	58.2	40	40	41	20	125	0	126	0	等高線	屯田兵衛生隊印		
70	151	2	清國盛京省	懷仁縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.2	40	40	41	20	125	0	126	0	等高線	なし		阪大
71	152	1	清國盛京省	廣寧縣義州	明治17年創製	1960/07	46.0	58.0	41	20	42	0	121	0	122	0	等高線	なし	阪大	
72	152	2	清國盛京省	廣寧縣義州	明治17年創製	1961/01	46.0	58.0	41	20	42	0	121	0	122	0	等高線	d	阪大	
73	153	1	清國盛京省	中安堡	明治17年創製	1960/07	46.3	58.3	41	20	42	0	122	0	123	0	等高線	d		
74	153	2	清國盛京省	中安堡	明治17年創製	1961/01	46.0	58.0	41	20	42	0	122	0	123	0	等高線	d		阪大
75	154		清國盛京省	奉天府	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	46.1	58.0	41	20	42	0	123	0	124	0	等高線	d		阪大(異版)
76	155		清國盛京省	撫順城	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	46.2	58.2	41	20	42	0	124	0	125	0	ヶバ	d		阪大(異版)
77	156	A	清國盛京省	汪清邊門新兵堡興京城古城	明治17年創製	1961/01	46.25	58.25	41	20	42	0	125	0	126	0	等高線	e		阪大

No.	図番号	個体番号	タイトル(大)	タイトル(小)	創製・製版年代	L0受入	サイズ			北緯			東経			地形表示	表面文言	裏面記載	所蔵
							タテ	ヨコ	度	分	度	分	度	分	度				
78	156	B	清國盛京省	汪清邊門新兵堡興京古城	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1960/07	46.2	58.0	41	20	42	0	125	0	126	0	等高線	d	
79	166	1	清國山東省	東昌府莊平縣東阿縣肥城縣	明治17年創製	1961/01	46.15	58.15	36	0	36	0	116	0	117	0	等高線	a	
80	166	2	清國山東省	東昌府莊平縣東阿縣肥城縣	明治17年創製	1960/07	45.0	49.3	36	0	36	0	116	0	117	0	等高線	c	
81	167	1	清國山東省	濟南府泰安府泰安縣歷城縣	明治17年創製	1961/01	45.9	58.1	36	0	36	0	116	0	117	0	ケバ	なし	
82	167	2	清國山東省	濟南府泰安府泰安縣歷城縣	明治17年創製	1960/07	44.3	49.3	36	0	36	0	116	0	117	0	ケバ	a	
83	168	1	清國山東省	博山縣	明治17年創製	1961/01	46.1	58.1	36	0	36	0	118	0	119	0	等高線	a	
84	168	2	清國山東省	博山縣	明治17年創製	1960/07	48.3	49.2	36	0	36	0	118	0	119	0	等高線	c	
85	169	1	清國山東省	高密縣安邱縣	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	45.9	58.0	36	0	36	0	119	0	120	0	等高線	a	
86	169	2	清國山東省	高密縣安邱縣	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1960/07	45.9	50.1	36	0	36	0	119	0	120	0	等高線	c	
87	171	1	清國山東省	平原縣禹城縣濰縣河縣故城縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.2	36	40	37	20	116	0	117	0	なし	なし	
88	171	2	清國山東省	平原縣禹城縣濰縣河縣故城縣	明治17年創製	1960/07	43.7	49.7	36	40	37	20	116	0	117	0	なし	c	
89	172	1	清國山東省	青島縣濟陽縣長山縣鄒平縣章邱縣周村鎮	明治17年創製	1961/01	45.9	58.2	36	40	37	20	117	0	118	0	等高線	a	
90	172	2	清國山東省	青島縣濟陽縣長山縣鄒平縣章邱縣周村鎮	明治17年創製	1960/07	44.3	49.2	36	40	37	20	117	0	118	0	等高線	c	
91	173	1	清國山東省	青州府昌樂縣濰縣光州府昌樂縣臨淄縣	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1961/01	46.1	58.1	36	40	37	20	118	0	119	0	等高線	f	
92	173	2	清國山東省	青州府昌樂縣濰縣光州府昌樂縣臨淄縣	明治17年創製、同28年1月修正 明治27年製版、同28年2月修正	1960/07	44.4	50.1	36	40	37	20	118	0	119	0	等高線	c	
93	175		清國直隸省	德州景州東光縣阜城縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.1	37	20	38	0	116	0	117	0	なし	a	
94	176	1	清國直隸山東	武定府陽信縣海豐縣慶雲縣樂陵縣德州平原縣	明治17年創製	1960/07	46.1	58.0	37	20	38	0	117	0	118	0	なし	g	
95	176	2	清國直隸山東	武定府陽信縣海豐縣慶雲縣樂陵縣德州平原縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.1	37	20	38	0	117	0	118	0	なし	a	
96	177	1	清國直隸省	定州祁州博野縣	明治17年創製	1960/07	45.9	58.0	38	0	38	40	115	0	116	0	なし	臨時第七師團糧餉部之印	
97	177	2	清國直隸省	定州祁州博野縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.3	38	0	38	40	115	0	116	0	なし	d	
98	177	3	清國直隸省	定州祁州博野縣	明治17年創製	1961/01	42.4	46.2	38	0	38	40	115	0	116	0	なし	c	阪大
99	178	1	清國直隸省	河間府獻縣交河縣青縣滄州南皮縣	明治17年創製	1960/07	46.2	58.1	38	0	38	40	116	0	117	0	なし	なし	

No.	図番号	個体番号	タイトル(大)	タイトル(小)	創製・製版年代	L0受入	サイズ		北緯		東経		地形表示	表面文言	裏面記載	所蔵		
							タテ	ヨコ	度	分	度	分					度	分
100	178	2	清國直隸省	河間府獻縣交河縣 書縣滄州固皮縣	明治17年創製	1961/01	46.1	58.1	38	0	38	40	116	0	117	0	なし	阪大
101	179	1	清國直隸省	保定府定興縣安肅 縣安州高陽縣望都 縣滿城縣完縣唐縣	明治17年創製	1960/07	46.0	58.1	38	40	39	20	115	0	116	0	なし	
102	179	2	清國直隸省	保定府定興縣安肅 縣安州高陽縣望都 縣滿城縣完縣唐縣	明治17年創製	1961/01	46.0	58.15	38	40	39	20	115	0	116	0	d	阪大
103	180	1	清國直隸省	永清縣霸州靜海縣 大城縣任邱縣保定 縣新安縣容城縣文 安縣雄縣	明治17年創製、同27年製版	1960/07	46.2	58.1	38	40	39	20	116	0	117	0	なし	
104	180	2	清國直隸省	永清縣霸州靜海縣 大城縣任邱縣保定 縣新安縣容城縣文 安縣雄縣	明治17年創製、同27年製版	1961/01	46.2	58.0	38	40	39	20	116	0	117	0	d	阪大
105	181	1	清國直隸省	易州涑水縣	明治17年創製	1960/07	46.0	58.1	39	20	40	0	115	0	116	0	なし	
106	181	2	清國直隸省	易州涑水縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.1	39	20	40	0	115	0	116	0	なし	阪大
107	182	1	清國直隸省	懷來縣保安州	明治17年創製	1960/07	46.3	58.0	40	0	40	40	115	0	116	0	なし	
108	182	2	清國直隸省	懷來縣保安州	明治17年創製	1961/01	46.3	58.2	40	0	40	40	115	0	116	0	d	阪大
109	183	1	清國直隸省	昌平州密雲縣順義 縣	明治17年創製	1960/07	46.1	58.2	40	0	40	40	116	0	117	0	なし	
110	183	2	清國直隸省	昌平州密雲縣順義 縣	明治17年創製	1961/01	46.2	58.2	40	0	40	40	116	0	117	0	d	阪大
111	184	1	清國直隸省	薊州平谷縣	明治17年創製、同27年製版	1960/07	46.0	58.1	40	0	40	40	117	0	118	0	なし	
112	184	2	清國直隸省	薊州平谷縣	明治17年創製、同27年製版	1961/01	46.0	58.1	40	0	40	40	117	0	118	0	なし	阪大
113	185	A	清國直隸省	遷安縣遵化州	創製明治17年4月、明治26年5 月製版(寫眞亜鉛版)	1960/07	46.3	59.1	40	0	40	40	118	0	119	0	なし	
114	185	B-1	清國直隸省	遵化州遷安縣	明治17年創製、同27年製版	1960/07	46.1	58.2	40	0	40	40	118	0	119	0	騎兵中隊	
115	185	B-2	清國直隸省	遵化州遷安縣	明治17年創製、同27年製版	1961/01	46.1	68.2	40	0	40	40	118	0	119	0	騎兵中隊	阪大
116	373		清國直隸省	三十家子	明治17年創製	1961/01	45.9	58.2	40	41	20	119	0	120	0	騎兵中隊	阪大	
117	374		清國直隸省	承德府平泉州	明治17年創製	1961/01	46.0	58.1	40	41	20	118	0	119	0	d	阪大	
118	375		清國直隸省	灤平縣古北口	明治17年創製	1961/01	46.1	58.2	40	41	20	117	0	118	0	騎兵中隊	阪大	
119	376	1	清國直隸省	赤城縣	明治17年創製	1960/07	46.0	58.3	40	41	20	118	0	119	0	なし	阪大	
120	376	2	清國直隸省	赤城縣	明治17年創製	1961/01	46.0	58.3	40	41	20	118	0	119	0	騎兵中隊	阪大	



表 2 : アメリカ議会図書館蔵「清國二十萬分一圖」の裏面の記載とカテゴリ対照表

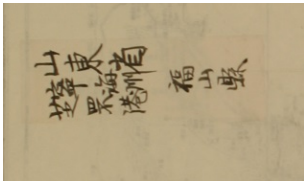
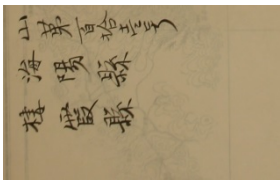
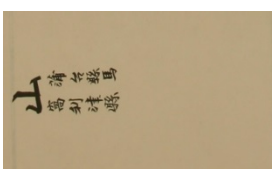

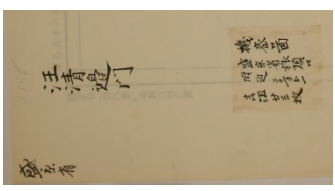
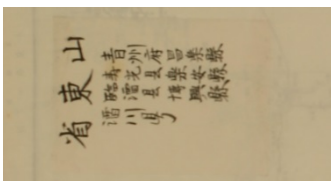
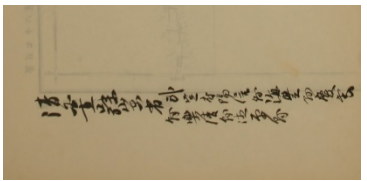
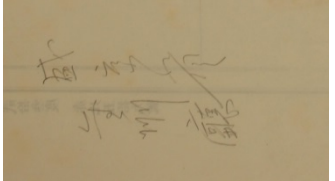
カテゴリ	a	b	c	d	e	f	g	h
筆記	筆	筆	筆	筆	筆	筆	筆	鉛筆
省名表示	○	○	略記	○	○	○	○	○
縣名表示	○	○	○	x	x	○	○	○
小地名表示	△	x	△	x	○	x	x	x
縮尺表示	x	x	x	x	○	x	x	x
図番号表示	x	○	x	x	x	x	x	x
機密表示	x	x	x	x	○	x	x	x
サンプル								
該当枚数	15	2	12	27	1	1	1	5

表 3 : 国立国会図書館蔵「清國二十萬分一圖」(YG819-570~576)

No.	図番号	個体番号	タイトル(大)	タイトル(小)	創製・製版年代	サイズ				北緯				東経				地形表示	表面文言	備考
						タテ	ヨコ	度	分	度	分	度	分	度	分	度	分			
1	145		清國盛京省	遼東省 營口海城縣	創製明治17年4月	47	59	40	41	20	122	0	123	0	123	0	ケバ	○		
2	146		清國盛京省	岫巖州	創製明治17年4月	47	59	40	40	40	123	0	124	0	124	0	ケバ	○		
3	147		清國盛京省	寬甸縣 安東縣 鳳凰廳	創製明治17年4月	47	59	40	40	40	124	0	124	0	125	0	等高線 +ケバ	○	147(A)とは別版	
4	149		清國盛京省	遼陽州	創製明治17年4月	47	59	40	40	41	123	0	124	0	124	0	等高線 +ケバ	○		
5	150		清國盛京省	城廩	創製明治17年4月	47	59	40	40	41	124	0	124	0	125	0	等高線 +ケバ	○		
6	154		清國盛京省	奉天府	創製明治17年4月	47	59	41	20	42	0	123	0	124	0	等高線 +ケバ	○			
7	155		清國盛京省	撫順城	創製明治17年4月	47	59	41	20	42	0	124	0	125	0	等高線 +ケバ	○			